

植田校区子ども会

●子ども会キャンプ

●新春子どもまつり

植田小学校校区は、現在の高松市のほぼ中心部に位置しています。

緑と自然に囲まれた環境にあり、色々な野外活動を行うにはとても適した場所にあります。

植田小学校の児童数は、現在128名で、子ども会への加入率は100%です。みんな、年間様々な行事を通して子ども会活動を楽しんでいます。



7月28～29日 キャンプ

ドラム缶風呂に入ったり、キャンプファイアーをしました。

8月 〈6日間〉 フットベースボール練習

最終日には東植田校区と練習試合をして、みんなでカキ氷を食べました。

8月19日 フットベースボール大会

男女ともに残念ながら、予選敗退でした。

11月25日 山田地区四校区交歓会

4月から同じ山田中学校に入る川島、十河、東植田校区の6年生とカレー作りなどをして仲良くなりました。

1月13日 新春校区子どもまつり

カルタ取りや、餅つきをしました。

2月3日 高松市新春子どもフェスティバル

カルタ取り大会に出場しました。

2月17日 スケート教室

初めてのイもすべれるようになりました。



今年度の植田校区子ども会活動で思い出に残ったこと。

まずは、公測森林公園キャンプ場で7月28日から一泊二日で行われた子ども会キャンプについてです。

毎年、子ども会キャンプは1年生から6年生の全校生を対象に行われています。今年は、小学生が84名、育成者が59名、それにジュニアリーダーが10名、合計153名が参加しました。

キャンプの中で一番楽しみにしていたのは、キャンプファイヤーです。なぜなら、ジュニアリーダーのお兄さんやお姉さんたちが楽しいゲームをたくさんしてくれるからです。

それから、食事もし楽しみでした。昼食は冷たくひやしたたらいうどんを食べました。

昼食後の自由時間では、いくつかのコースに分かれて過ごしました。



読み聞かせのコースでは、ボランティアで活動している「どんぐりお話の会」のみなさんが読み聞かせをしてくださいました。主に、低学年の人達が参加しました。部屋の中で聞くのと違い、外の芝生の上でお話を聞いたり、手遊びをしたりするのは、とても気持ちがよかったようです。どの子も、にこにこして楽しんでいました。

また、火おこしの体験には、アスレチックから帰ってきた中・高学年の人達が参加しました。

火おこしの道具は、育成会の方たちが手作りで用意してくれました。みんな、自分が1番に火をおこしてやろうと汗びっしょりになりながら取り組んでいました。しかし、なかなかうまくいかず、煙はでるのですが、火種をとって炎にまで大きくすることはできませんでした。今は簡単に火をつけることができるので、大昔の人達は、大変な思いをして火を使っていたのだなと思いました。

キャンプの一日ははやく、そろそろ夕食の準備です。

夕食の準備は各班で、5・6年生の高学年の担当です。その中で、ご飯を作る人と、カレーを作る人に分かれて夕食の準備に入ります。

ご飯を作るグループは、各班まず、かまどを作ります。その次に、米を洗って火にかけます。火にかけてからは、火加減に注意が必要です。

カレーを作るグループは、各班にいる育成者の方に説明を聞いて、野菜の皮むきから材料を切る作業を進めていきます。食材の用意が出来ると、鍋に入れていきます。こちらも火加減に注意が必要です。それぞれの食材を火にかけたら、後は出来上がりを待つだけです。

どんな味に出来上がっているか、みんなワクワク楽しみにしていました。



カレーの出来上がりを待つ間に、今回の目玉ともいえるべきドラム缶風呂を体験しました。

まず、小さい学年の人達から、シャワーを浴びた後にドラム缶風呂に入りました。しかし、最初はみんな入ったことがなかったので、なかなか入りませんでした。その時、1人の男子が、おそろおそろ入り、「温かくてとても気持ちいい」と言ったところ、楽しそうに見えたのか、みんな急に我先に入ろうとしました。2～3人で入ったり、なかなか出たがらなかったりと、とてもみんな喜んでいました。

しかし、このドラム缶風呂に入れるようになるまでには、影の努力があったのです。6年生全員で、ドラム缶を運んだり、バケツリレーで水を汲みいれたり大変でした。

ドラム缶風呂に初めて入って見て、げす板というのを浮かせないようにバランスよく入るのが難しかったです。また、ドラム缶のまわりが熱くなってさわるのが出来ないのではないかと心配でしたが、思ったより熱くなく不思議でした。初めて入ったドラム缶風呂はとても気持ちよかったです。

さらに、後で聞いたのですが、キャンプ1週間前には、育成会の方たちが、試しに実際にお風呂をわかせて入り、みんなが楽しめるように工夫改善してくれていたそうです。

公測森林公園キャンプ場にはぼくたちみんなが入れるくらい大きなキャンプファイヤー場があります。

今までは育成会の方がキャンプファイヤーの薪を組んでくれていましたが、今年はぼくたち6年生の男子が挑戦しました。

薪を集めるのは大変らしく、今年は役員さんから建築廃材をもらい、育成会の方たちがぐき抜きをして使えるようにしてくれました。

大きな木の持ち方からよく燃える薪の組み方まで育成会の方が教えてくれました。ぼくたちが組み立てた型は「井桁型」というそうです。木は重かったけれど組みあがった薪を見るとうれしくなり、「やった～！」と思いました。

キャンプファイヤー本番でもうまく火がつき、燃え上がる炎を見て感動しました。

キャンプファイヤーの後は、それぞれのテントに戻り就寝時間です。しかし、小学校生活最後のキャンプだったので、テントの中で夜遅くまで友だちと話をしたり、トランプをしたり、楽しい思い出がたくさん出来ました。



さて、さわやかな朝を迎え、ラジオ体操の後は、朝食の時間です。

メニューはカートンドックです。

作り方は、パンに野菜とソーセージをはさみんだものを、キッチンペーパーで包み、次にアルミホイルで包んで、さらに、もう一度キッチンペーパーでつつみ牛乳パックに入れてから火をつけて焼きます。

わたしは、牛乳パックと一緒に中のパンも燃えてしまうのではないかと心配になりました。だけど、開けてみたら、ほどよく火がとおり、ホカホカのホットドックができあがりました。とてもおいしかったです。



最後にみんなで片付けをして帰りました。

校区新春子どもまつりについて

今年の1月13日、西植田コミュニティセンターで子ども会会員68名、育成者45名、ジュニアリーダー4名の、計117名の参加がありました。

私達の校区では毎年、この大会で勝ったチームが2月に行われる、高松市新春子どもフェスティバルのカルタ取り大会に出場することになっています。そのためみんな真剣な表情で競い合って、ドキドキしながら、取ったカルタの枚数を数えていました。そして大きな声で「勝った、勝った!」と大喜びするチームもありました。

また昨年同様、餅つき大会も同時に行われました。

餅つき用の杵も、低学年用の小さい杵と、中高学年用の少し大きな杵と2種類のものを育成者の方が自分で作って、用意してくれました。

初めて体験する1年生たちは自分の順番を、今か今かと目を輝かせて待ちきれない様子でした。会場では「よいしょ! よいしょ!」という元気なかけ声が響き渡っていました。大人の人にもちぎってもらったお餅を自分たちで丸め、しょう油をつけたり、きな粉をトッピングしたりして、食べました。

自分たちでついた、出来立てのお餅は格別においしかったです。

お餅を食べ終わった子ども達から、ジュニアリーダーと昔遊びをしました。

その時ジャンボカルタを育成者の方が作ってくださいました。

他にも、羽子板や、独楽回しなどをして、楽しく遊びました。



これからも楽しい子ども会活動がずっと続いてほしいと思います。

